
「EALの見直し」の中長期課題の検討について

2023年11月30日
原子力エネルギー協議会（ATENA）

- 緊急時活動レベル（以下「EAL」という。）の見直しに関して、今まで開催された12回の緊急時活動レベルの見直し等への対応に係る会合（以下「EAL会合」という。）を踏まえた中長期的な検討課題について、現在の検討状況及び検討スケジュールについて説明する。

- 2020年9月1日 第7回 緊急時活動レベルの見直し等への対応に係る会合（以下「EAL会合」という。）において提示した検討課題及びその状況については以下の通り。

2020年9月1日 第7回EAL会合 資料2-2抜粋

資料2-2

2020年8月19日
ATENA

現行のEAL判断基準や特重施設等を考慮した判断についての意見

	件名	概要	分類	反映時期	関係 EAL
1	原子力災害時の特重 秘密情報の取扱い	原災法に基づく通報等において情報管理の考え方を整理したい。	運用上の整理	短期（特重供用開始まで）	全般
2	F/V 実施時の発信	現状、炉心損傷防止のための使用と定義されており、PWRのF/V目的（格納容器破損防止）と異なるため、定義の見直しが必要と考える。	基準検討	短期（特重供用開始まで）	43
3	同一AL内の複数判断基準の精査	同一AL内の判断基準間で事象の深刻度に相違があるため、整理したい。	基準検討	中期	11,21,25
4	判断基準のバラつき	原子炉等の状態が考慮されていない判断基準もあるため、EAL間の事象深刻度に差異が生じていることから、パラメータベースの判断基準の設定も含め、EAL判断基準の考え方を長期的に検討したい。	基準検討	長期（あるべき論と合わせて検討）	全般
5	判断基準の重複の精査	GE発出後のSE発出、複数のGE発出により通報連絡が煩雑となるため、通報のあり方を整理したい。	運用上の整理	中期	全般
6	判断基準に考慮できる設備の拡充（BWR）	有効性評価にて有効性が確認できた設備が考慮できていないため、考慮可能としたい。 (例) 低圧代替注水系（常設）、代替循環冷却系	基準検討	中期（新規制基準審査と連動）	22,23,29等

左表の状況

完了

完了

検討中

検討中

検討中

概ね完了
(EAL51検討継続)

AL完了

課題としては提示しないが、今後面談等にて運用上の認識合わせを行いたい

7	非該当基準の整理	判断の取り下げに係る基準の明確化
---	----------	------------------

- また、2023年3月20日 第11回EAL会合において、原子力規制庁よりEAL51シリーズ（緊急時制御室）について、GE51のみ緊急時制御室を追加する案が提示。本案を受け、2023年4月28日 第12回EAL会合において、AL51及びSE51については中長期課題として検討することを事業者として説明。

➤ 頁2, 3にて示した課題のうち、今後の中長期課題を以下に示す。

検討課題	内容	検討状況
同一AL内の複数判断基準の明確化	同一AL 内の判断基準間で事象の深刻度に相違があるものを整理	事業者整理完了 (ALの判断基準に対する課題整理後、SE,GEを検討する観点から優先して検討)
判断基準のバラツキの整理	原子炉等の状態が考慮されていない判断基準もあるため、EAL間の事象深刻度に差異が生じていることから、パラメータ判断基準の設定も含め、EAL判断基準の考え方を整理	同一AL内の判断基準検討結果を踏まえて、今後検討
判断基準の重複の精査	GE発出後のSE発出、複数のGE発出により通報連絡が煩雑となるため、通報のあり方の整理	同一AL内の判断基準検討結果を踏まえて、今後検討
EAL51の整理	制御室環境に関するAL51、SE51の整理 原子炉又はSFP異常に関するSE51の整理	同一AL内の判断基準検討結果を踏まえて、今後検討
非該当基準の整理	AL、SE、GEの判断の取り下げに係る基準の明確化	AL解消について基本的考え方は合意済み。更なる明確化について、今後検討

3. 検討スケジュール

- 検討スケジュールを以下に示す。なお、下記スケジュールによらず、検討した項目から順次説明を行っていく。

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
同一AL内の複数判断基準の明確化				
判断基準のバラツキの整理				
判断基準の重複の精査				
EAL51の整理				
非該当基準の整理				